

令和7年度「地域とともにある学校づくり」推進フォーラム

7月9日(水) 前沢ふれあいセンターを会場に、「地域とともにある学校づくり」推進フォーラムを開催しました。管内各地域において円滑かつ効果的なコミュニティ・スクールの導入やその取組方策について理解を深めるため、講演を行いました。当日は、小中学校の担当者、地域コーディネーターやPTA役員等の地域住民、行政関係者等、総勢100名が参集しました。

【講演】 「学校運営協議会 & 地域学校協働活動 ～ひらめき、動いてみよう!～」

<講師>

紫波町教育委員会事務局
社会教育指導員兼 CS アドバイザー
佐々木 勉 氏

講師の佐々木氏からは、「学校運営協議会の本質を理解し『熟議』本来の目指すものを理解すること」、「地域学校協働活動の新たな動きを作り出すこと」について、紫波町での実践事例を交えながらお話をいただきました。演習では、学校種・規模ごとに4人グループを編成(地域・行政グループもあり)し、これまでの実践や困り事などをグループ内で共有しました。

お互いに評価やアドバイスをし合う活動をとおり、各所属での学校運営協議会のあり方を見直したり、地域学校協働活動の内容を見つめ直したりする機会となりました。今後の活動につながる学びを得ることができました。



【参加者の声(アンケートから一部抜粋)】

- ・地域学校協働活動を進めていくためのハードルが下がったように感じた。
- ・学校運営協議会と地域学校協働活動それぞれの目的をしっかりと意識して活動を形作っていきたい。何ができるのか、どうやれば関わる人達全員が「楽しんで」活動できるのか、ひらめきを大事にしながら考えたい。
- ・自分の学校の課題に対して、他の方から意見提案をもらえたのがとてもためになった。
- ・学校と地域の好循環をつくっていくことが大切だということを再確認できた。
- ・「地域学校協働活動の目的は、学校を支援したり、子どもたちの育成に関わったりすることによって、地域住民のつながりを強めること」という、今まで全く考えたこともなかった視点での学びがあった。
- ・協議の中で他校の副校長先生方と各校の様子について交流できたことが大変有意義だった。いただいたアドバイスを帰ってから実践してみたいという思いを強く持った。
- ・「熟議は、出来ることを検討する場」話し合いを楽しく進めながら委員さんそれぞれの立場でできることは何か考えていきたいと思います。それが子どもたちの健やかな成長につながるものだと思改めて感じた。